

研究の背景・目的

人工林は高齢級で主伐が多く、造林植付増で苗木の需要が増えますが供給が追いつかないのが現状です。苗畠では従業員の高齢化等で確保が難しい中でコンテナ苗の増産を考えて見ました。

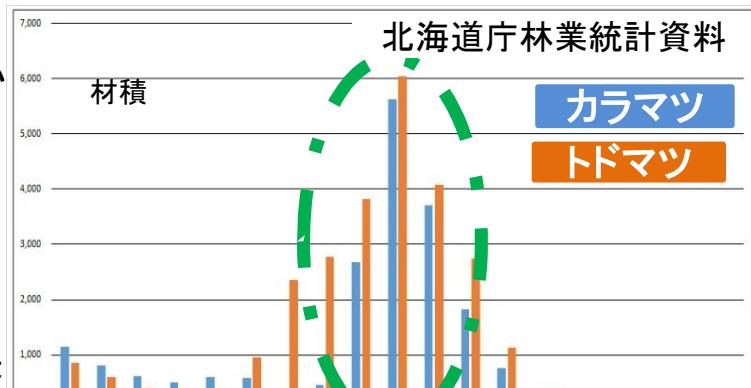
研究の内容・成果

苗を増産するのには幼苗移植期間の延長と、それに合わせた移植幼苗育苗技術が必要です。通常春期に行っていたのを秋期まで行い、幼苗の活着・生長を調べました。トドマツは11月まで、カラマツは12月も移植を行えます。今までの試験データーをまとめますと「幼苗移植期間の拡大」となり、コンテナ苗の増産は十分可能なことがわかりました。

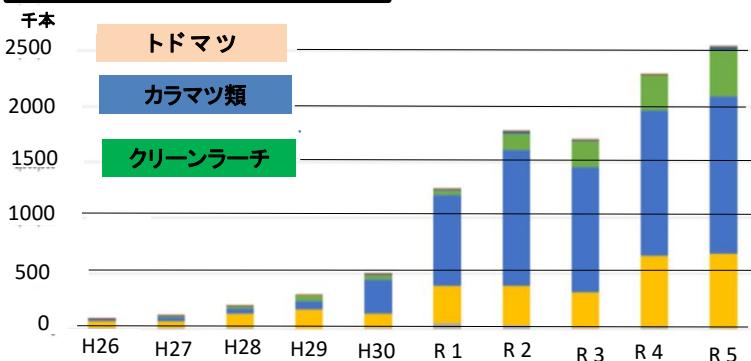
今後の展開

コンテナ苗の育苗期間の短縮、不適と言われていた大苗の育苗技術も習得しています。用途に合ったコンテナ苗を植えることで下刈りの省略・回数削減ができ保育経費の削減も出来ます。厳しい雇用状態の中でコンテナ苗の増産に向け努力してまいります。

カラマツ・トドマツ齢級別材積



年度別コンテナ苗植付実績



カラマツ・トドマツコンテナ苗幼苗移植期間の拡大

樹種	移植時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
カラマツ類	コンテナ移植	△?	○	○	○	○						○	○
	移植幼苗				1年生幼苗							1年生幼苗	1年生幼苗選苗仮植
	備考			越冬			生长期・頂芽・枝芽・伸長部傷める移植控える					越冬	
トドマツ	コンテナ移植	△?	△?	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△?
	移植幼苗				1年生幼苗				未幼苗			1年生幼苗	
	備考					2年生幼苗雪中貯蔵			生长期・頂芽・枝芽・伸長部傷める移植控える			越冬	

下刈省略・回数削減コンテナ大苗



トドマツ育苗期間の短縮コンテナ苗



コンテナ苗移植期間拡大生産増

